

教職課程の自己点検・評価

教職課程委員会

2023 年 3 月 1 日承認

大学基準協会が定める「大学基準」に対応した基準を、各項目の()内に記載。

教育理念・学修目標(基準1 理念・目的)

(1) 点検・評価項目における現状説明

【大学全体】教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画を適切に設定し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画を設定しているか。

はい いいえ

【教員養成の目標】

桃山学院大学では、「キリスト教精神に基づく世界の市民の養成」を建学の精神とし、「キリスト教精神に基づく人格の陶冶と世界の市民として広く国際的に活躍し得る人材の養成」を教育理念として掲げています。

教職課程においても、他者への愛と責任をもち、ひとりひとりの人格と主体性を尊重し、互いに仕えあいながら他者と共に生きる教育を通じて、現代の社会にふさわしい人材の育成を担う教員を養成し、教育現場に輩出することで、社会の発展に貢献することを目標としています。

【目標を達成するための計画】

本学では、教員養成の目標を達成するために、各学部および研究科における学士課程科目および修士課程科目と教職課程科目により、教職および教科の専門性はもちろん、教員に求められる総合力をも獲得できるよう、教育を展開している。この目的のもと、各学部および研究科においても、多数の関連科目を開設し、学生の学びに込めている。

また、授業科目において得た知識を、学生が主体的に学び、考え、実践していけるよう、教育実習や教職実践演習の科目において教育現場で活躍する卒業生等をゲスト講師として招聘し学生の学びに繋げている。ホームカミングデーや教員免許状更新講習では、ボランティアとして参加し交流することで、学生が現場の状況を感じ、考える機会としている。さらに、教職センターが中心となり、地域の自治体(教育委員会)学校および教育現場経験者などの協力も得て、多数の実践的な取り組みを正課科目および課外で展開している。詳細は、教育養成の教育の質向上に係る取組(教員採用試験に向けた取組みについて)のとおりである。

定期的に教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画を見直しているか。

はい いいえ

教職課程委員会が教員養成の目標および達成するための計画に責任をもつ組織になるが、定期的な見直し・検証を実施できていない。今後、年度はじめ、あるいは年度末に定期的な検証を行うプロセスを検討する必要がある。

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画を学生及び教職員に周知し、社会に対して公表しているか。

はい いいえ

教職課程・教職センターの Web サイトを使って、教員養成の目標および達成するための計画を社会に対して広く公表している。

【URL】 <https://www.andrew.ac.jp/kyoshoku/index.html>

(2) 長所・特色

(1)に記入した内容について、長所・特色と思う取り組みを記入してください。

特になし。

(3) 問題点

(1)に記入した内容について、改善が必要だと思う部分を記入してください。

教員養成の目標および達成するための計画の定期的な見直し・検証を行うプロセスの検討が課題である。

授業科目・教育課程の編成実施（基準4 教育課程・学習成果）

(1) 点検・評価項目における現状説明

【大学全体】複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程を適切に編成しているか。	
法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し、必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか。また、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
法令等に基づき、教職課程における必要な授業科目を開設している。また、教職課程科目の担当教員に対しては、例年12月中旬以降のシラバス入稿の際に、担当科目の位置付け等を周知することで役割分担を明確にしている。ただし、教職課程以外の科目との関連性については、学内での議論が進んでいない。	
ICTの活動指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性が適切に確保されているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
共通シラバス科目「教職実践演習（中・高）」において、ICT活用指導力を高める授業内容を担保している。また、2022年度から科目名称・内容を新たに「教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）」において、ICT活用指導力をより高める授業内容を担保している。これらの科目については、「教職実践演習の実施に当たっての留意事項」（令和3年8月4日改正）および教職課程コアカリキュラムに対応した到達目標等を設定している。	
教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備を適切に整備しているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
教職課程ではなく、全学的に授業科目の実施に必要な少人数対応（アクティブラーニング対応）かつ、ICT設備を備えた教室を複数整備している。科目担当教員の意向を踏まえて、適切な教室配当を行っている。	
キャップ制を適切に設定し、学生に周知しているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
例年4月に学年別実施する教職課程ガイダンスにおいて、大学の単位制度の趣旨を含めて学生に周知している。	
【授業科目レベル】個々の授業科目の到達目標、シラバス等を適切に設定し、定期的に見直しを図っているか。	
法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
教職課程委員が行う教職課程科目のシラバス点検により、法令等、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムに対応しているかを確認している。特に、科目の新設や担当教員の変更があった場合、重点的に点検を行っている。	
教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学習と事後学習の内容等が明確に記載されているか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
シラバスに授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学習と事後学習の内容等が明確に記載されている。ただし、開放制の教職課程ということもあり、教員養成の目標及び目標を達成するための計画が広く共有されているとはいえ、教員養成の目標及び目標を達成するための計画と授業科目との関係は、記載されていない。	
重要な役割を果たす教職実践演習および教育実習について、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与のもと適切に行われているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
共通シラバス科目として「教育実習」「教職実践演習（中・高）」を開講している。教職課程コアカリキュラムおよび「教職実践演習の実施に当たっての留意事項」（令和3年8月4日改正）に対応した授業内容を、事前指導・事後指導含め計画的に行っている。また、「教育実習」については、当該科目の担当者が構成員となる評価会議において、適切に成	

績評価を行っている。

(2) 長所・特色

(1)に記入した内容について、長所・特色と思う取り組みを記入してください。

特になし。

(3) 問題点

(1)に記入した内容について、改善が必要だと思う部分を記入してください。

教員養成の目標及び目標を達成するための計画が教職課程科目を担当する教員間で広く周知されているとはいえないが、開放制の教職課程としてどの範囲まで共有しておくべきか議論が必要である。

学修成果の把握・可視化（基準4 教育課程・学習成果）

(1) 点検・評価項目における現状説明

【大学全体】成績評価に関する全学的な基準を策定し、適切に公表されているか。

成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係などが明らかにされているか。

はい いいえ

全学的な成績評価基準を定める他に、シラバスにおいて成績評価方法（評価の割合等）を適切に公開している。

【成績評価基準】

	評価	基準
合格	S	90～100点
	A	80点～89点
	B	70点～79点
	C	60点～69点
		学外資格取得により、本学の評価として認定したもの
	R	編・転入等、他大学で修得した科目を本学の評価として認定したもの
	T	海外留学等で修得した科目を本学の評価として認定したもの
不合格	D	59点以下、授業放棄または不受験
評価外	W	履修中止した科目

【学科等レベル】成績評価に関する共通理解を構築し、適切に運用されているか。

同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか。

はい いいえ

一部の同一名称の授業科目については、概ね共通シラバスにより授業内容及び成績評価の標準を図っている。

教員の養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報を設定し、適切な達成状況を把握・活用できているか。

はい いいえ

教員養成の目標が広く共有されているとはいえず、その達成状況（学修成果）を明らかにするための情報を設定できていない。

【授業科目レベル】成績評価の状況は適切になっているか。

各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的または定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができているか、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
シラバスにより各科目の到達目標及び成績評価方法を明示し、全学的な成績評価基準に照らして公正な成績評価を行っている。シラバスの成績評価方法において、到達目標の達成水準を測定する手法（試験、レポート等）や配点割合を学生に対して明示している。	

(2) 長所・特色

(1)に記入した内容について、長所・特色と思う取り組みを記入してください。 特になし。
--

(3) 問題点

(1)に記入した内容について、改善が必要だと思う部分を記入してください。 教員養成の目標が教職課程科目を担当する教員間で広く周知されているとはいえないが、開放制の教職課程としてどの範囲まで共有しておくべきか議論が必要である。

教職員組織（基準 6 教員・教員組織）

(1) 点検・評価項目における現状

【大学全体レベル】FD・SD を適切に実施しているか。	
授業科目の担当教員が、教員の養成の目標および当該目標を達成するための明確への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDとして適切に実施できているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
教職課程委員会において、教職課程に関する勉強会やセミナーの内容を共有することで、教職課程を担う教員間で適切にFDを実施している。 ただし、主要な教職課程科目を担当する教員間で、教員養成の目標及び目標を達成するための計画の共有や教職課程に関する勉強会やセミナーの内容の共有が十分できていない。	
【学科等レベル】教員の配置状況、教員の業績は適切にされているか。	
教職課程認定基準（平成 13 年 7 月 19 日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足しているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
教職課程委員及び事務職員が、例年 3 月末までに提出する教職課程の変更届の提出前に、基準に定められた必要専任教員数を充足しているかどうかを確認している。	
授業科目に関連した分野の業績及び実績をもつ教員を適切に配置しているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
新規採用の際、教職課程の授業科目に関連した分野の業績及び実績をもつ人材であることを確認のうえ、配置している。	
【授業科目レベル】効果的に授業評価アンケートを実施されているか。	
個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会を活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施を行っているか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ
全学的な授業評価アンケートを実施・公開している。	

(2) 長所・特色

(1)に記入した内容について、長所・特色と思う取り組みを記入してください。

特になし。

(3) 問題点

(1)に記入した内容について、改善が必要だと思う部分を記入してください。

主要な教職課程科目を担当する教員間で、教員養成の目標及び目標を達成するための計画の共有や教職課程に関する勉強会やセミナーの内容の共有が十分できていない。

情報公表（基準1 理念・目的）

(1) 点検・評価項目における現状説明

【大学全体レベル】法令に定められた事項を適切に情報公表しているか。

学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第172条の2（関連部分）教育職員
免許法施行規則第22条の6に定められた内容を適切に情報公表しているか。

はい いいえ

各規則に定められた内容を、教職課程・教職センターのWebサイトに掲載している。

【URL】 https://www.andrew.ac.jp/kyoshoku/contents/01_menu/menu_13.html

教職課程の自己点検・評価に関する情報を適切に公表しているか。

はい いいえ

本シートにより教職課程の自己点検・評価を実施し、学内組織（教職課程委員会等）を経て、教職課程・教職センターのWebサイトに掲載予定である。

(2) 長所・特色

(1)に記入した内容について、長所・特色と思う取り組みを記入してください。

特になし。

(3) 問題点

(1)に記入した内容について、改善が必要だと思う部分を記入してください。

「教職員免許法施行規則」の改正により、2022年度から義務化された教職課程の自己点検・評価を適切に実施・取りまとめ、その結果を適切に公表できるようにする。

教職指導【学生の受け入れ・学生支援】（基準5 学生の受け入れ・基準7 学生支援）

(1) 点検・評価項目における現状説明

【大学全体レベル】教職課程の学生の受け入れ・学生支援に関する取り組みを適切に行っているのか。

教職課程を履修する学生の確保に向けた取り組みを適切に行っているか。

はい いいえ

「合格者向けサイト」に教職課程に関する情報を掲載するとともに、例年4月に実施する新入生オリエンテーション期間内に、新入生対象の教職課程ガイダンスを実施することで、本学の教職課程を広く周知・学生確保に向けた取り組みを行っている。

教職課程を履修する学生に対する履修指導を適切に行っているか。

はい いいえ

<p>例年 4 月に実施する新入生オリエンテーション期間内に、新入生対象の教職課程ガイダンスにおいて、教職課程の履修のポイントを解説する他に、教職課程登録学生による「履修相談会」を実施して</p> <p>また、教職センター窓口で随時教職課程に関する履修相談を受け付けている。</p>	
<p>教職課程を履修する学生に対する進路指導等を適切に行っているか。</p>	<p>はい <input type="checkbox"/> いいえ</p>
<p>教員経験者を教職センター教員として配置し、当該教員による教員採用試験対策講座を通年実施している。</p> <p>また、教職センター窓口で随時教員を志望する学生の進路相談を受け付けている。</p>	

(2) 長所・特色

<p>(1)に記入した内容について、長所・特色と思う取り組みを記入してください。</p> <p>特になし。</p>

(3) 問題点

<p>(1)に記入した内容について、改善が必要だと思う部分を記入してください。</p> <p>特になし。</p>
--

関係機関等との連携 (基準 9 社会連携・社会貢献)

(1) 点検・評価項目における現状説明

<p>【大学全体レベル】関係機関等と適切に連携を行っているか。</p>	
<p>教育委員会等と適切に連携・交流を図り、学生への指導の充実等に繋げているか。</p>	<p>はい <input type="checkbox"/> いいえ</p>
<p>本学所在地に近い教育委員会とは、適切に交流を図ることで、希望する学生をスクールサポーターとして派遣することや、自治体主催の教員採用試験の学内説明会・講師登録に関する学内説明会を開催している。</p>	
<p>学外の諸機関との連携により、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等と活用することができるか。</p>	<p>はい <input type="checkbox"/> いいえ</p>
<p>4 年次の春学期に履修する「教職実習」では主に教職に就く卒業生をゲスト講師として招聘し、4 年次の秋学期に履修する「教職実践演習(中・高)」では本学所在地に近い教育委員会の教職員をゲスト講師として招聘することで、学外の多様な人材を活用した学びの場を提供している。</p> <p>その他に、教育実習の前年度(3 年次)に実施する教育実習準備ガイダンス(第 1 回、第 2 回)においても、教育現場で教職に就く教員をゲスト講師として招聘し、教育現場の様子や教育実習の心構えを講演いただいている。</p>	

(2) 長所・特色

<p>(1)に記入した内容について、長所・特色と思う取り組みを記入してください。</p> <p>特になし。</p>

(3) 問題点

<p>(1)に記入した内容について、改善が必要だと思う部分を記入してください。</p> <p>特になし。</p>
--

以上